

単元名：日韓のお風呂文化										
科目名	韓国語	作成日	－		作成者	プロジェクトメンバー				
学年／年次	－	クラス人数	－		使用教科書と課					
話題分野	住まい	言語レベル	3		必要時間数	8時間				
Ⅰ 単元目標										
旅行やホームステイで、関心の高い日韓のお風呂文化について、決まりやルール、国・地域の特色などを調査・比較し、それぞれのお風呂の楽しみ方を紹介するポスター作り、発表したり、文化祭で展示したり、韓国の交流校に送って交流したりすることができる。				言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	
			わかる							
			できる							
			つながる							
言語領域			文化領域			グローバル社会領域				
◆日韓両言語でお風呂文化とその楽しみ方を紹介するポスターを作成することができる。 ◆ポスターの内容を口頭で発表し質疑応答することができる。			◆お風呂文化のお国柄、地域性、個人のお風呂文化について、調査・比較することができる。 ◆風呂文化と住まいの関係について気づくことができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。			◆紹介したい内容を考え、ポスター発表の仕方を工夫することができる。(情報活用) ◆他のグループが作ったポスターを見たり、発表を聞き、お風呂文化の捉え方について、自分のグループと比較することができる。(高度思考) ◆パソコンやプロジェクター等のIT機器を活用することができる。(情報活用) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。				
コミュニケーション能力指標			【住まい】 3-a. 住居の大きさ・構造(間取り、階、誰が使う部屋かなど)を、口頭でまたは書いて、簡単に説明できる。 3-b. 部屋の使い方や特徴について、会話できる。 3-c. 住居について気に入っているところや改善したいところなどを、伝えあうことができる。 3-f. 日本と相手の国の多様な住居(形態や住み方など)について書かれた文章を読んで、それぞれの特徴を、簡単なレポートにまとめることができる。				★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。			

Ⅲ 学習活動と評価	
ブレコミュニカティブ活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆ネットや書籍でお風呂について書かれた文章を集め、グループで手分けして内容のポイントを箇条書きにし表を作成する。【3-f】 ◆温泉やサウナ、お風呂に関する用語、大きさや構造、使い方・効能などを表す表現の絵カードを作成する【3-a、b】 ◆グループ内で、自分の好きなお風呂の楽しみ方、こうあってほしいという施設のあり方等を話し合う。【3-b、c】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆日韓や他地域のお風呂文化について調べ、類似点・相違点を比較考察し、表にまとめる。（情報量、内容の豊かさ、的確さ、深さなど） ◆お風呂文化に関する語彙・表現を示す絵カードを作る。（表記の正確さ、楽しさ、面白さ、工夫、創造性など）
コミュニケーション活動（学習シナリオ）	
<場面状況> A大学の韓国語のクラスでは、旅行やホームステイで関心の高いお風呂文化（温泉やサウナ、街中のお風呂屋さん、自宅や個々人のお風呂文化など）について、決まりやルール、国・地域の特色などを調査・比較し、理解を深めるとともに、それぞれのお風呂の楽しみ方を紹介するポスターを発表することになった。 <活動の流れ> 自分たちのお風呂の習慣について、好きな入り方やこだわりを話し合ったあと、他の地域や韓国ではどうか、書籍やネットを活用して、お風呂やお風呂文化について調査し、書かれた文章や写真等を集める。グループ毎に手分けして内容や特徴を理解・整理し、ポイントを表にまとめる。 集めた情報をもとに、施設や使用方法・効能などの名称や表現をわかりやすい絵カードに作成する。グループごとに作成した絵カードを見ながら、お風呂の楽しみ方やこうあってほしいと思う施設のあり方などを話し合い、紹介したい内容を決める。 絵カードや収集した写真を活用し、パソコンやプロジェクター等も利用してポスター発表する。またポスター発表の様子をビデオで撮影し編集して、文化祭で発表したり、交流校に送ってより多くの人に紹介する。 ヒント🔑 ◆それぞれの地域でのお風呂文化の発祥や歴史、変遷を調べて発表することもできる。	
<目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）> ◆日韓のお風呂文化のお国柄、地域性、または個々人のお風呂文化について調査・比較し、ポスターを作成する。（表やイラスト、写真の活用、見やすさ、わかりやすさ、面白さ、独創性など） ◆作成したポスターを見せながら、口頭で発表し、ビデオに撮影して交流校に送り、見てもらう。（声の大きさ、発音の正しさ、聞き取りやすさ、発表の仕方、編集の創意工夫など）	
<使用教材・教具> ネット、パソコン、プロジェクター、模造紙、画材、ビデオ	
教室外（人・モノ・情報）との連繋	他教科の内容との連繋
ネット、書籍、韓国の交流校もしくは韓国語クラスのある国内の高校、文化祭	美術（ポスター）、情報処理（インターネット・パソコンの活用、ビデオ機器の操作・編集）